



▲全ての寝室と2階以上に寝室がある場合は階段への設置が義務付けられています。

います。さらに、このうち2万件以上が建物火災であり、火災による死者は1427人、負傷者は6114人の被害が出ています。特に住宅火災で亡くなった方の中で65歳以上の高齢者は668人と全体の約70%を占め、死者が発生した火災の出火時刻は22時～翌朝4時までの夜間が最も多くなっています。

このような就寝時に火災に巻き込まれて被害に遭ったケースに対する有効な手立てのひとつが、「住宅用火災警報器」の設置です。住宅用火災警報器は、平成23年に全ての住宅

冬になると空気が乾燥し、火災が発生しやすくなる傾向があります。そのような火災発生に対する危険性をお伝えし、火災を発生させないよう予防することも孤野町消防本部の役割のひとつです。

平成30年の全国で発生した火災の出火原因では、1位が「たばこ」

天井や壁などの高い部分に設置する住宅用火災警報器。高齢者など自身での取り付けが難しい方には職員が訪問しての取り付けも行っています。

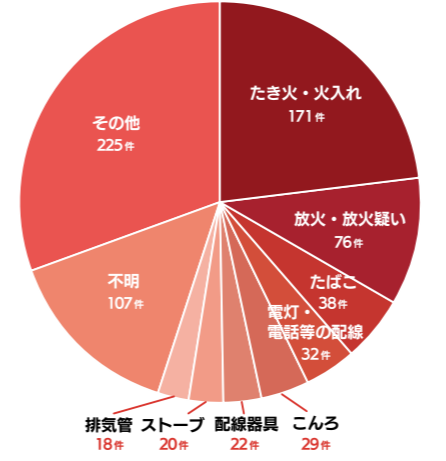


火災の発生を防ぎ大切なものを守る



1 高齢者宅の防火訪問でガス器具周りを確認する職員 2 高齢者に消火器の使用方法を伝える様子 3 事業所の屋内消火栓の点検状況を確認 4 非常口などの障害物の有無を確認

原因別出火件数 出典 三重県



に設置が義務付けられており、火災が起きた場合に煙や熱などを感知して大きな音で火災の発生を居住者に知らせます。消防署では、署員が高齢者宅を訪問し、ガス器具や消火器の取り扱いを説明するとともに、住宅用火災警報器の取り付け確認を行う防火訪問を実施しており、まだ設置されていない方は、早急な取り付けをお願いしたいと思います。

また、住宅用火災警報器の取り付けが既に済んでいる住宅でも、設置から10年が経過すると、電池切れや機器不良などで作動しない場合があります。

平 成30年の全国の火災件数は3万8000件近くあり、1日あたり104件の火災が発生して

各家庭に住宅用火災警報器を

誤った使い方をすると火災の原因となるので注意が必要です。

2位が「コンロ」でしたが、三重県では1位が「たき火」で屋外での焼却行為が火災原因となるケースが多くなっています。孤野町でも屋外での焼却行為による枯草火災などが冬季に多発しており、建物や車両に燃え移り延焼した事例もあります。住民の皆さんには火災の危険性を十分に理解し、屋外での焼却行為に注意してもらい必要があります。

また、近年では電気を起因とする火災が増加しており、家電を使用する位置が不適切であったり、使用方法の誤りから出火に繋がるケースが多く発生しています。全国的には、電気ストーブによる火災が最も多く、石油ストーブと違って炎が出ないことから安心感から設置位置を誤り、出火に繋がるケースがあります。その他にはコンセントとプラグの隙間にホコリが溜まって発火するトラッキング現象やショートによる火災、リチウムイオン電池の過充電による火災も発生しています。今や生活に欠かせない電気器具ですが誤った使い方をすると火災の原因となるので注意が必要です。

防火協会として火災予防に協力

町内の各事業所で協力しながら火災予防と防火という側面で孤野町を支えています。防火協会では消火訓練装置や訓練用消火器を購入し、それらの資機材を使用して事業所や自治会などで消防訓練を行っていただいています。

西田太郎さん 会長

このまちを守るため

まずは火災を発生させないこと

ります。住宅用火災警報器は、点検ボタンを押すか点検ひもを引っ張り、警報音や音声が出るか確認することで作動状態を簡単に確かめることができます。もしものときにきちんと作動するように日頃から点検を行っておくことをお勧めします。

日々の訓練から緊急時の通報、そして火災予防の点まであらゆる面で孤野町を守っている孤野町消防本部。住民皆さんの生命、生活、財産を守るため、今日も24時間体制で活動を行っています。

各 家庭に住宅用火災警報器を設置するよう勧める一方で、町内の事業所を訪問し、防火シャッターの動作や火災警報器の設置などを確認する検査も実施しています。立ち入り検査では、緊急時に使用する非常口付近に避難の邪魔になるものがないか、消火器の耐用年数が過ぎていないかなど検査を行い、是正すべき箇所がある場合は、事業者へ指導しています。特に多くの人が出入りする旅館やホテル、危険な化学薬品や油などを保有する工場で火災が発生した場合、被害が甚大となるおそれがあります。そのため事業所には、火災の被害を少しでも軽減できるように徹底した指導を行っています。

大規模火災を未然に防ぐため

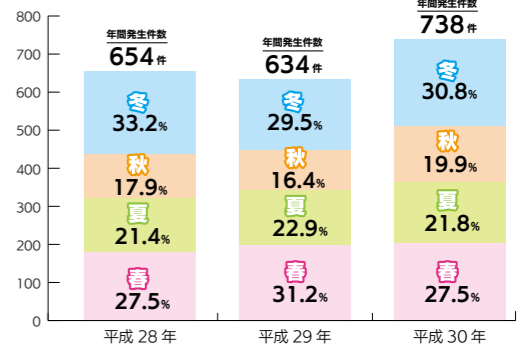
住宅用火災警報器の設置で助かる命

住宅用火災警報器の設置によって命が助かるケースが多くあります。2階以上に寝室がある場合は階段にも設置が必要です。台所は義務ではありませんが、取り付ける場合は熱感知式のを設置することが望ましいです。



孤野町消防本部 予防課 主査 落合伸和

季節別火災発生件数 出典 三重県



▲過去3年間を比較しても、冬季の火災発生件数が他の季節に比べて多くなっています。

